



## 発疹



- 発疹は様々な理由で出現する症状ですが、すぐに受診しなければならないのはアレルギーによる急性反応であり、アナフィラキシーのときです。
- アレルギー食物を摂取していないか、初めて摂取した食物がないか確認しましょう。また食べた時間、量、症状の出現時間をメモしましょう。
- 発疹は出ているが、他に症状がない、活気、機嫌も良い時は慌てずに対応しましょう。写真に撮っておくと診察時役立ちます。
- 発疹は色々な原因でできます。続く時は相談しましょう。

### あてはまるときは救急車を呼びましょう

- ☐ 咳や呼吸がくるしそう
- ☐ 顔色が悪く、ぐったりしている
- ☐ 腹痛・嘔吐がある



### すぐに受診



- ☐ 冷やしてもかゆみが強く我慢できない
- ☐ 全身にひろがるじんましん



### 診療時間内に受診



- ☐ 発疹が一部でかゆみが弱い(冷やすと軽減する)
- ☐ 発疹がでたり、ひいたりが続いている

## よくある発疹について



### <じんましん>

一時的に出現するかゆみのある赤くて膨らんだ発疹です。丸や楕円形、地図上に膨らみます。数十分から数時間で消失することが多いです。食物アレルギーや感染、温熱刺激や物理的刺激が原因です。



一部でかゆみが弱ければそのまま自然消失します。かゆみは冷やすと軽減します。かゆみが強い、広がる場合には、抗ヒスタミン薬の内服を行います。外用薬はあまり効果がありません。

### <乳児湿疹>

新生児から乳幼児期にみられる湿疹です。治療としては石けんで優しく洗い保湿します。ひどい場合はステロイド剤を使用します。湿疹はぶり返すことも多いですが、生後3～4ヶ月頃に自然と良くなってきます。アトピー性皮膚炎との区別が難しいこともあります。



### <アトピー性皮膚炎>

アレルギーでおこる湿疹です。2カ月以上持続するかゆみのある慢性的な湿疹です。乳児期は顔や首、腕の外側、足の表側などにできやすく、年齢が経つにつれて肘の内側や膝の内側などにできやすくなります。掻くと刺激となり悪化するため早めに相談しましょう。

